

タイヤチェンジャー

取扱説明書

SKTOKI 585HC

装置を使用する前にこのマニュアルをよくお読みください

☞ 主要構成部品 (図 1 参照)

1. 垂直支柱スライダー
2. タイヤ脱着フック
3. ビードプレスローラー
4. センターポスト
5. センターポスト傾斜油圧シリンダー
6. 操作コンソール
7. ビードクリーム容器サポートリング

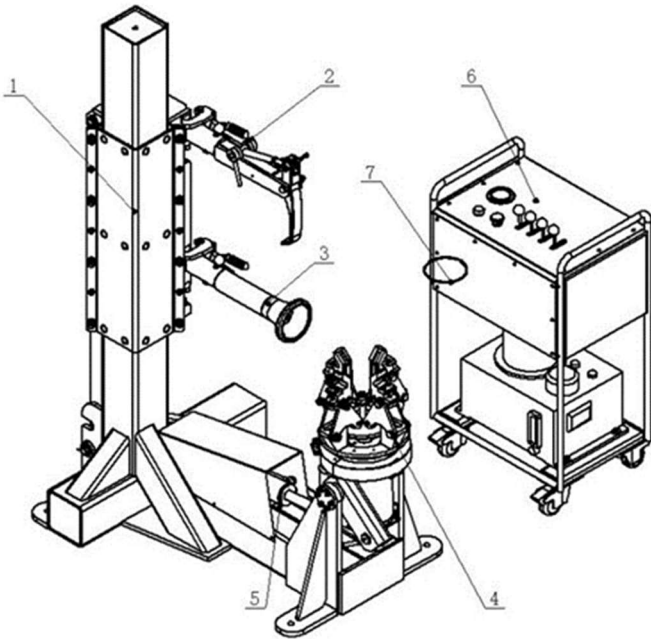


図 1

☞ 技術仕様

対応トラック用リムサイズ	17.5" 19.5" 22.5"
最大ホイール重量	1000Kg
最大ホイール幅	425 mm
最大ホイール径	1300 mm
油圧モーター	BMP315 640Nm
油圧ポンプステーションモーター	3KW-380V-3PH
動作圧力	130 bar -150 bar
騒音レベル	<75db
正味重量	500Kg

☞ 設置方法

- 関連する安全規則に従って安全な場所を選択してください。タイヤチェンジャーは電源に接続する必要があります。電源接続に便利な場所と、オペレーターが操作しやすい設置スペースを選んでください (図 2 寸法図参照)。屋外に設置する場合は、雨よけの設備が必要です。

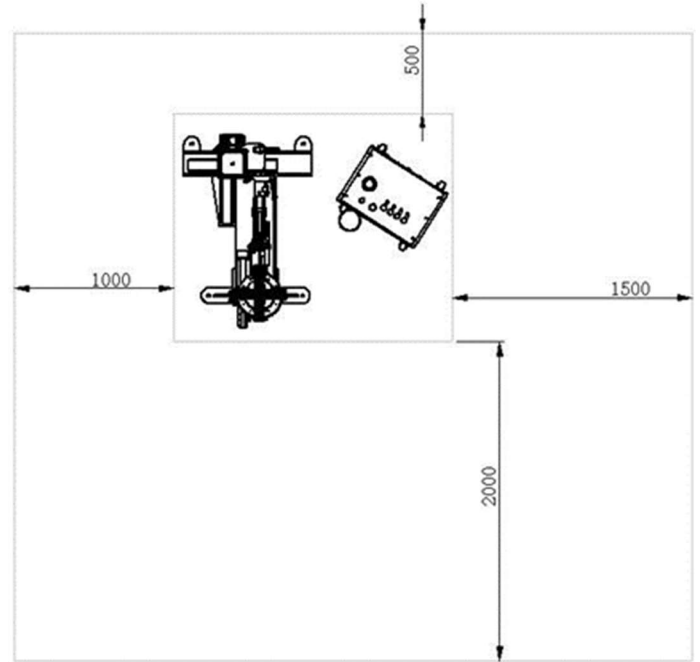


図 2

図 3 参照、設置場所の地盤は平坦でなければなりません。マシンシャーシの底面にボルトで固定する貫通穴があります。水平面に対する傾斜が 2.5%以上の場合、補正のため水平にする必要があります。

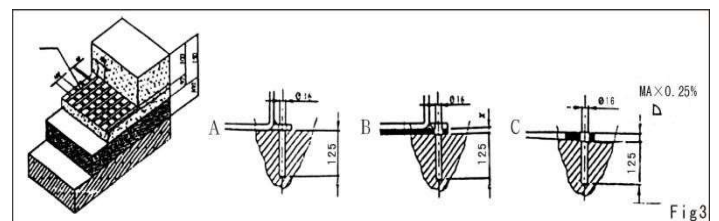


図 3

着脱トラック用ホイールの重量が 1000Kg を超える場合は、アンカーボルトによる固定が必要です。

● 電源接続

注意事項：

- ◆ 設置場所には有効な保護接地回路を設け、機械の接地マークに従って接地接続します。
- ◆ 電源系統には自動ブレーカーを設置してください。30A で設定してください。
- ◆ タイヤチェンジャーを電源に接続し、スイッチを入れた後、モーターを確認してください。矢印の指示方向と同じ方向に回転していますか？（図 5 参照）。動作方向が逆の場合、専門家による位相の切り替えが必要です。

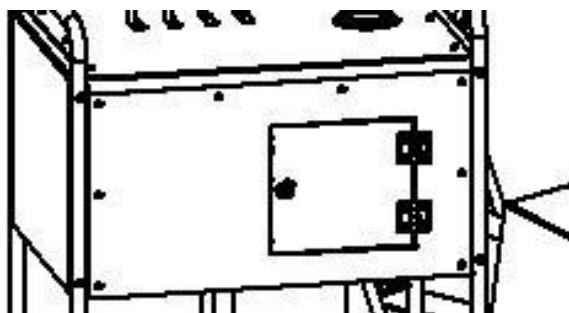


図 4

数秒間、逆回転が続くと、モーターが焼損する可能性があります。



図 5

注：センターポストモーター，油圧ポンプステーションモーターとも、図 4 の電気制御ボックス内に過負荷保護装置が装備されています。

● 動作確認

タイヤチェンジャーを使用する前にランニングテストを行い、取り付けや操作に問題がないことを確認する必要があります。

すべての電気的作業は、専門の技術者が行ってください。

以下の作業はすべて、ビードプレスローラー（部品 No.3）を「使用しない」状態にしておく必要があります。

- ◆ 操作コンソール(部品 No.6)に電源を接続し、主電源スイッチを ON にすると、油圧ポンプステーションのモーターが始動します。ジョイスティック B を下方方向に引くと、垂直支柱スライダーが下方方向に動きます。ジョイスティック B を上方方向に引くと、垂直支柱スライダーが上方方向に移動します。

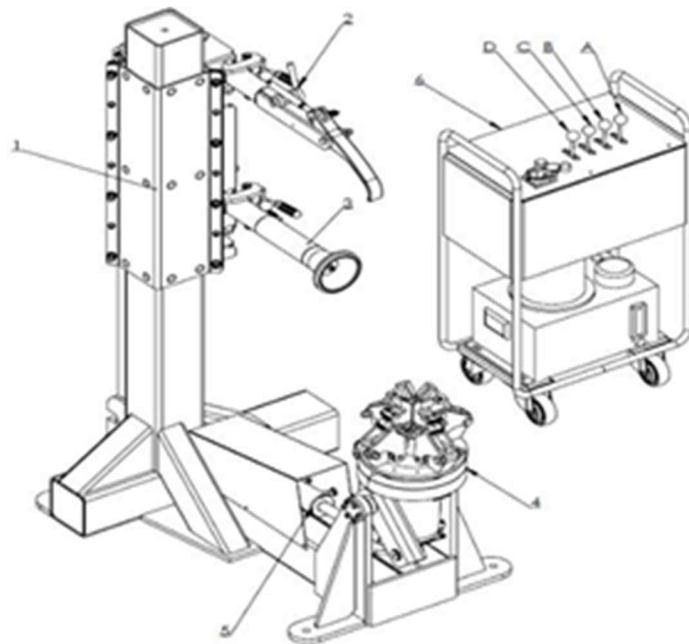


図 6

タイヤチェンジャーのアーム上下動や油圧クランプの開閉で打撲傷を負う可能性があるため、作業者はその可動範囲外で作業する必要があります。

☞ 操作方法

● 操作説明

指示や警告を無視すると、操作者や第三者に重大な外傷を負わせることがあります。ですから、この取扱説明書を読むまでは、電源を入れないでください。

すべての作業者は、本機を使用する前に適切な訓練を受ける必要があります（他の作業者は作業区域に入ることにはできません）。作業中の危険を避けるため、タイヤチェンジャーの上に物を置かないでください。メーカーの許可なく、タイヤチェンジャーを改造したり、いじったりすることはできません。作業中の安全に注意して、長い髪は結び、ゆったりとした服を着用せず、ネクタイ、ネクレス、指輪、時計を着用しないでください。これらは可動部に引っかかりやすいためです。

◆ **非常停止**：非常停止ボタンを押すか、電源を切ってください。

● **リムを固定する**

17.5", 19.5", 22.5" リムのうち、リムの種類によってクランプ方法と位置が異なります（図 7 参照）。ジョイスティックを操作して、センターポストの角度を調整し、リムをクランプします。センターポスト操作用ジョイスティックを操作して、タイヤ交換の作業に便利な高さまで持ち上げます。

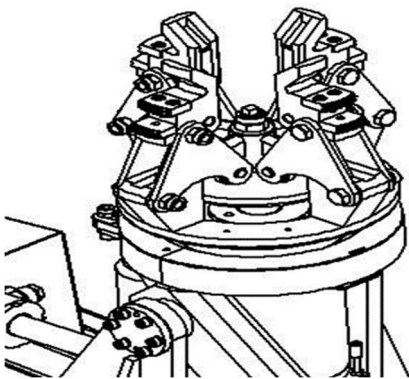


図 7

● **タイヤの脱着**

ビードプレスローラーでビードを落とします。

1. リムがクランプされていることを確認し、空気を抜いてください。
2. 作業中、クランプ具合を調整します。
3. ジョイスティックを操作して、ビードプレスローラーをタイヤビードの端に近づけます。

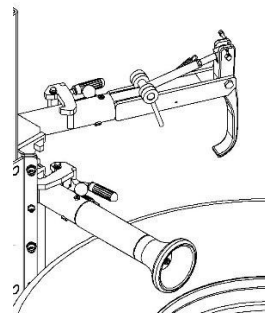


図 8

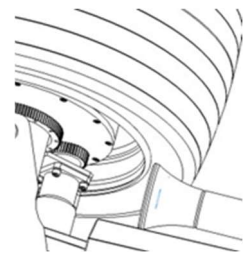


図 9

4. ホイールを回転させ、その間、ビードプレスローラーを操作して上下に移動させます。
5. ビードが完全に剥がれるまでビード落としを続け、ビードクリームを塗布し、作業中にリムやタイヤに損傷を与えないようにします。

十分注意してください! タイヤと工具の間に指を挟まないでください。危険防止のため、内側と外側のエッジを操作している間は、反時計回りに回してください。

6. ビードプレスローラーをリムエッジから外し、ツールホルダロックを解除し、サポートアームを持ち上げて「使用する」状態から外し、ビードプレスローラーを内側に移動します。

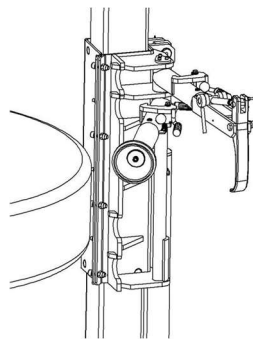


図 10

● **タイヤ取り外し**

- 1) タイヤを約 45 度に傾け、ビードプレスローラーをまっすぐ置きます（トラックのホイール幅によって、タイヤの持ち上げ方を変えます）。

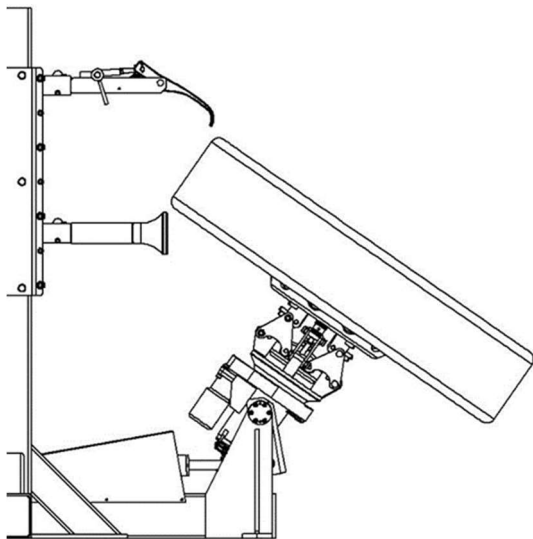


図 11

2) タイヤ脱着フックをタイヤビードの奥にゆっくりと差し込み、調整します。センターポストが水平になるように調整した後、タイヤ脱着フックとビードプレスローラーを持ち上げます。

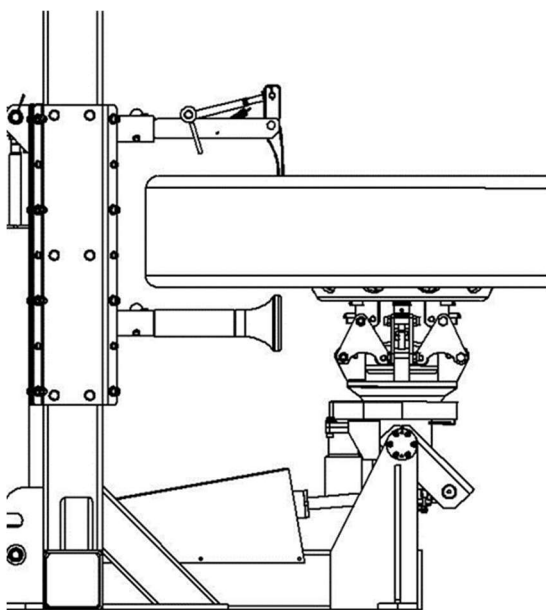


図 12

3) タイヤのビードがリムから 5cm ほど浮いたところで、ホイールを反時計回りに回し、最初のビードをリムから外します。

4) そのままタイヤ脱着フックを上へ上げ、2つ目のビードが完全にリムから外れるようにします。

(注: タイヤが完全に落ちたら、滑り落ちないようにタイヤをしっかり和您ってください。)

タイヤがリムから外れると、タイヤが落ちてしまいますので、作業中、周りに人がいない事を確認してください。

5) タイヤが地面につくようにセンターポストを回して、タイヤの修理などその後の作業を行います。

●タイヤ再装着

1) その後の作業が完了したら、リムを使ってタイヤのビードに掛けさせ、センターポストを水平位置まで回してタイヤの再装着に備えます。

2) ビードプレスローラーで、タイヤの最初のビードを装着します。

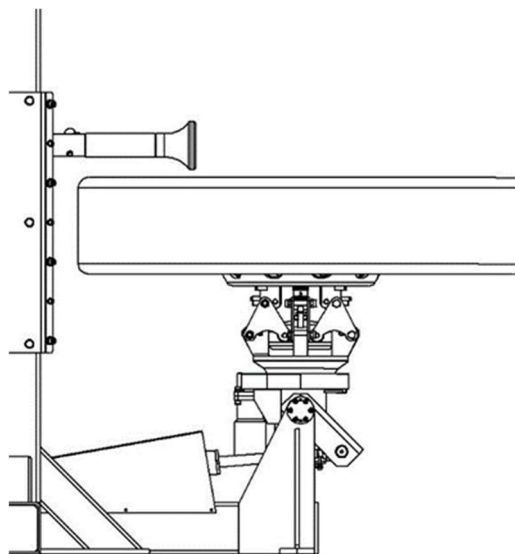


図 13

3) ビードプレスローラーを連続して下ろし、2番目のビードの再装着を完了させます。再装着の際、2番目のビードがリムから外れた場合は、タイヤプレス・アシスタント（ビードヘルパー）を使用してタイヤを装着してください。



図 14

4) ビードプレスローラーを上げ、センターポストを傾斜させ、タイヤが地面についたら、クランプを緩めます。タイヤを外したら、タイヤ再装着を完了します。

！注意！ タイヤとツールの間に指を挟まないでください。

☞ メンテナンス

マニュアルに従った定期的なメンテナンスは、タイヤチェンジャーを正しく使用するための基本であり、機械動作の信頼性を確保するために、その作業寿命を延ばすことができます。

安全のため、修理やメンテナンスの前には電源プラグを抜いてください。

純正部品を使用し、不具合部品の交換は整備士等の専門家に依頼してください。

以下の部品は、定期的に軽油で丁寧に洗浄し、グリースを充填してください。

- (1) トレーラガイド、(2) ツールブラケット水平軸、(3) リフティングシリンダー。

油圧システムは、32番作動油を使用します。

200 - 300 時間を実行した後、またはバルブがひどく詰まっている場合は、作動油を交換してください。800 時間の使用後、週に一度タンクとオイル内の油圧ポンプ作動油を確認してください。油量が不足している場合は、32番作動油を追加してください。黒く汚れている場合、劣化している場合は、作動油を交換してください。ウォームギヤは定期的（四半期ごと）に軽油で洗浄し、リチウムベースのグリースを塗布してください。保管：長期間（3～4ヶ月）使用しない場合は、適切に保管してください。

- ① リフティングアームを下げてください。
- ② リフティングアームに負荷がかからないようにしてください。
- ③ 電源を抜いてください。
- ④ トレーラーのガイドレールにグリースを塗布してください。
- ⑤ オイルタンクを空にしてください。

- ⑥ ツールサポート垂直シャフトにグリースを塗布してください。

☞ 輸送、梱包、保管

本機は、元の梱包箱に入れて輸送し、梱包箱に示された位置に従って置いてください。

フォークリフトは、本機を取り扱うことができる能力を有していなければなりません。

開梱してパッケージを取り出した後、輸送過程でタイヤチェンジャーが無傷であることを確認し、標準付属品、包装を取り出して適切に取り扱う必要があります。この間、操作コンソールを傷つけないように注意してください。本機を一時的に保管する場合、保管環境が以下の通りであることを確認してください。

最大相対湿度：95% 温度：最低-5°C 最高+40°C

油圧回路図

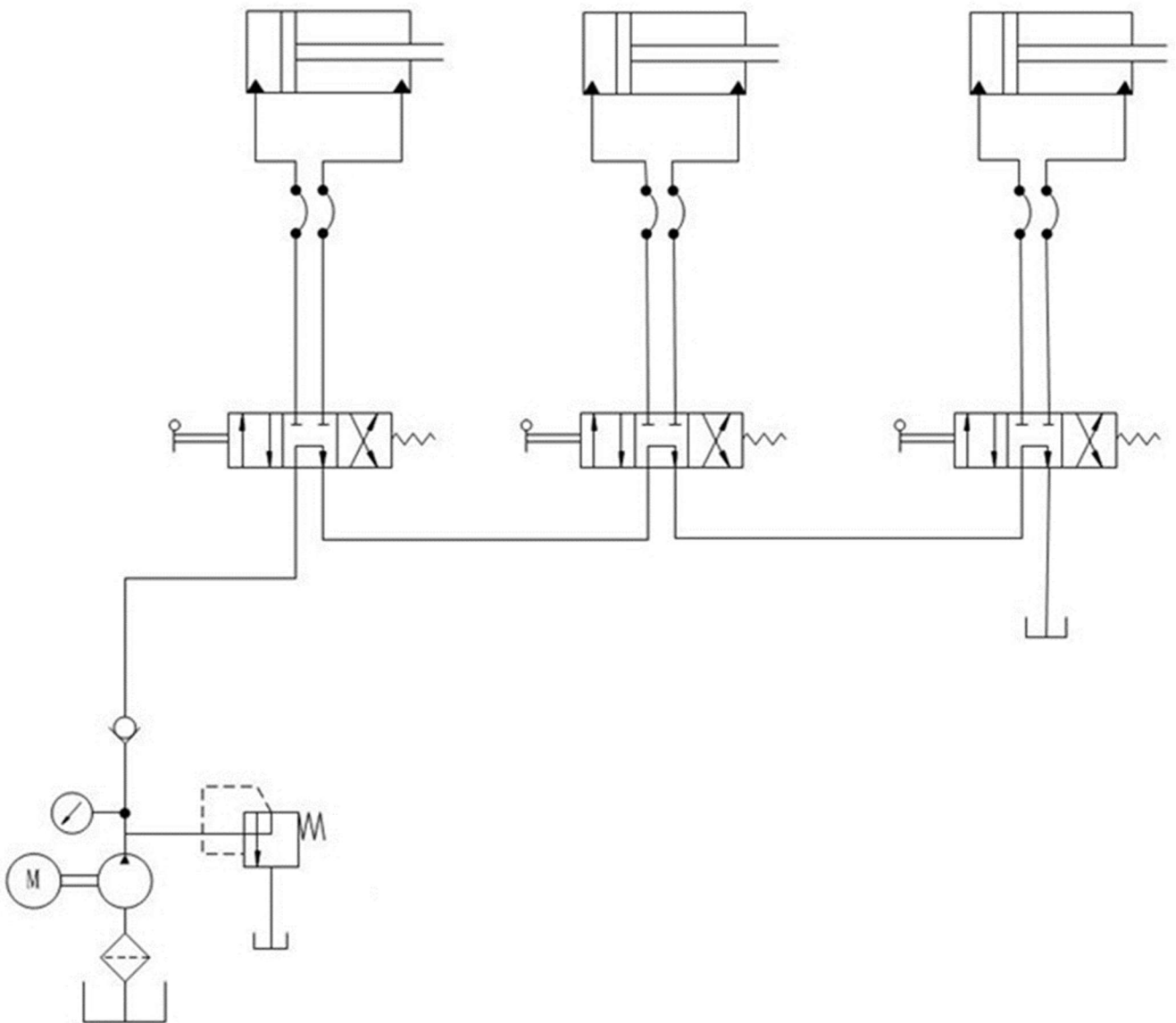


図 15

技術パラメーター

1. モーター: 3KW/380V/220V; 三相で 1400 r/m
2. オイルポンプ: 変位; 3.1 ML/r; 定格使用圧力 : 15MPa
3. モーターオイルポンプとバルブプレートを分離した設計。

☞ 電気回路図

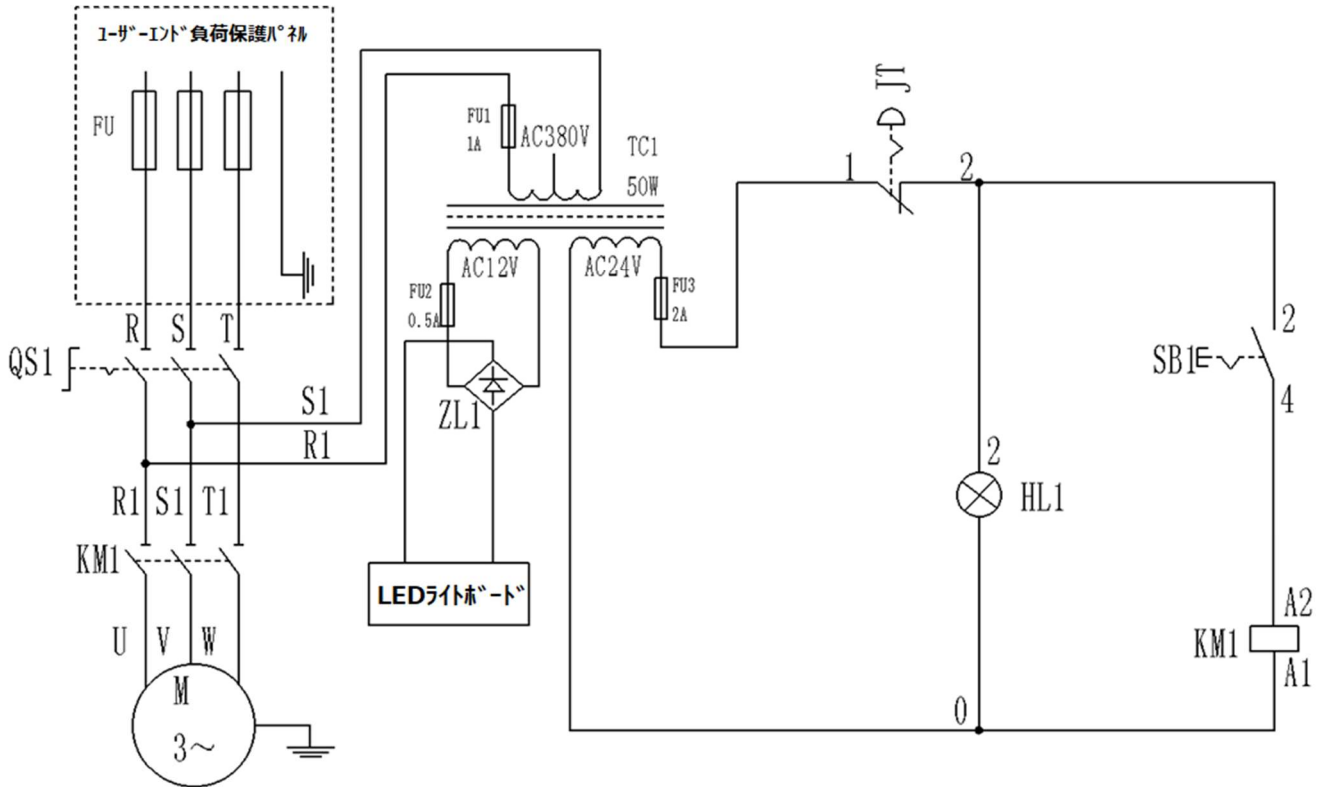


図 16

タイヤ交換時の空気入れは絶対に禁止されています！

製造者は、購入者に事前に通知することなく、製品を変更する権利を有します。